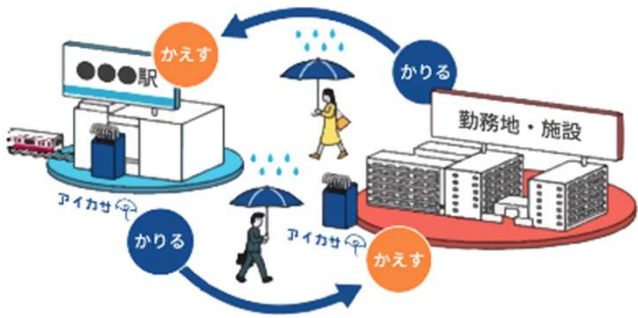


IT×傘シェアのアイカサで使い捨て傘の削減と雨の日の移動を便利に快適に		<b>取組開始時期</b>	2018年12月	<b>取組の</b> <b>カテゴリ</b>	環境対策
<b>1. 団体名</b>	株式会社Nature Innovation Group	<b>2. 連携先の</b> <b>団体</b>	環境省、JR東日本、丸井グループ、小田急電鉄、西武電鉄、ローソン等		
<b>3. 取組</b> <b>目的</b>	人々の移動を快適にし、日本から使い捨て傘をゼロにするミッション		<b>4. 関連する</b> <b>ゴール</b>		

**5. 取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）**



**<アイカサとは>**

急な雨の日に「使いたいときだけ」傘をレンタル。必要がなくなれば好きなスポットで返却し”手ぶら”で移動。傘をIoT化した新しい傘システム「アイカサ」は年間およそ8000万本と言われているビニール傘の廃棄を傘をシェアすることで削減し、人々の移動を快適にし、クリーンでエコな社会づくりを目指しています。

2018年12月からサービスをスタートし、現在では全国に約800ヶ所の傘レンタルスポットを設置し、24時間70円という低価格で気軽に傘を利用することができます。



**<システム>**

公式アプリをダウンロードしたスマホにクレジットカードか電子決済で決済登録をしたら、最寄りのスポットでレンタル用QRコードを読み取ることですぐに傘が利用できます。

24時間70円(税込)で、同月内なら何日借りても420円で課金上限がストップするなど、低価格で、環境にもよくオシャレで丈夫な傘がレンタル可能。雨が止んだらお好きなスポットで再度QRコードを読み取ればすぐに返却完了し手ぶらで移動OK。しかもアイカサの傘は壊れても傘骨1本から修理可能なりペアブル傘。使いやすく環境に良い誰もが使いたくなるシェア傘を提供しています。



**<リサイクル>**

2020年9月よりziploc素材をリサイクルした更に環境に良い傘を発表。デザインはbeamsが担当し若者を中心にオシャレなシェア傘と話題になり多くのメディアにも取り上げて頂きました。

**取組のポイント（3つの視点）**

- 地方創生SDGsの視点**  
日本全国にアイカサスポットを設置し、エリアオリジナルのデザイン傘を制作することにより地域密着の傘シェアリングサービスを提供しています。住み続けられるまちづくりや気候変動に具体的な対策を目標に、使い捨て傘を削減し、地域を綺麗にエコで便利なアイカサを観光地、地方都市でも展開しています。
- ステークホルダーとの連携**  
人々の移動の始点やハブになる鉄道、不動産（オフィスビル、マンション、シェアハウス等）、商業施設などを運営する企業と積極的に連携し、より多くのユーザーに認知してもらうことにより便利に快適に利用してもらっています。また、同時に傘表面を広告として活用することで多数のオリジナルデザインの傘を作り協業企業の認知向上と街を彩る使いたくなるシェア傘を提供しています。

**モデル性・波及性**  
まず、日本で初めて本格的にITを取り入れた傘の貸し出しサービスを展開しました。スマホを使って利用登録をすることで課金制のモデルで「傘のシェアリング」が可能になりました。よくある貸し出し傘は傘が返却されないことが課題でしたがアイカサでは返却率は99%以上。また、駅や商業施設など人々が多い場所にスポットを設置することで視認性向上やSNSと連動したアプリなどで多くの認知度を得ることができ、1年でユーザー登録りつ100倍の成長を達成しています。

## 自由記述欄

Ca Et La



All Plastic Umbrella  
**+TIC**

+TICは、すべての部材が弾力性や耐久性に優れたオールプラスチック傘。すべてをゼロからデザインしなおした、シンプルなたたの丈夫な傘です。金属を使っていないので、錆びて汚くなることもありません。つかいやすく、長く大切に使うことができます。



傘の骨1本から取り替えられる、リペアブルな構造



濡れても一振りで乾く、経路水加工



テーブルにピタッとかけられるストッパー



強い風にも負けないグラスファイバー製

日本の傘メーカーであるサエラとの共同開発により、実現した地球に優しい傘。

①オールプラスチック傘

②リペア可能な作り。

③簡単に壊れない丈夫な作り  
\*傘の耐用年数1年半

④安全・安心な誰も傷付けられない傘先端の平面加工



誰も傷つけない先端の平面加工

・傘はサステナブルな傘を製造している株式会社サエラと協業し、細部にもこだわり、丈夫でリサイクルしやすい傘を展開。

・現在日本全国に17種類のデザイン傘を展開。エリアや協業企業に合ったオリジナルのデザインで街を彩り、認知向上にもつながります。

・雨の日のみならず、夏の暑い日には「日傘」としても活躍。特にアイカサの日傘はレンタルなので男性が一時的に利用する日傘男子の需要も多く、2019年、2020年と環境省と一緒に<熱中症対策>として日傘のシェアリングサービスに取り組みました。

参考→ <https://www.env.go.jp/press/108366.html>

・JR山手線、西武線、小田急線など首都圏の主要鉄道と連携し、沿線各駅設置を展開。最寄り駅にあることでいつでも傘の利用に困らず「傘をシェアすることが当たり前」の時代づくりとして傘シェアのインフラ化を構築中

・神戸市、水戸市、横浜市など地域と協定を結びエリアを拡大。

・オリジナルアプリの導入でより詳細な情報提供やデータ活用が可能に。



丸井のアニメ

小田急電鉄

東京ステーションシティ(東京駅)・東京建物

西部ガス

上野エリア(パンダ柄)

環境省・熱中症予防プロジェクト

tenki.jp

JR九州

### アイカサ関係者図

